

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無斷轉載禁止》

レジメン番号： CRC-124

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん (RAS野生型)	Pmab + CPT-11	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	Lancet Oncol 14: 749-59, 2013

＜注意事項/備考＞

- ✓ Pmab : 0.2または0.22 μmのインラインフィルターを用いて投与
 - ✓ 検査 : 定期的な血中Mg値のモニタリングを (適宜Mg補正を)
 - ✓ Pmab : 1回投与量として1000mgを超える場合は、90分以上かけて点滴静注すること
 - ✓ インフュージョンリアクション (Pmab) : 初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
 - ✓ ざ瘡様皮疹・皮膚乾燥予防 (Pmab) : 皮膚を清潔に保ち、刺激を避ける。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用
 - ✓ 爪回炎 (Pmab) : 遅発性 (1か月後～) に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を

✓ 下痢（CPT-11）：急性症状（コリン様症状、前投薬に抗コリン薬併用などの検討）と慢性症状（活性代謝物による粘膜障害、必要に応じてロペラミドの検討）

:>



4



—